

会社の概要

● 会社概況 (平成27年3月31日現在)

新京成電鉄株式会社

設立 昭和21年10月23日
本社 〒273-0192
千葉県鎌ヶ谷市くぬぎ山四丁目1番12号
電話 047-389-1111【総務人事部】
<http://www.shinkeisei.co.jp/>

主な事業内容 鉄道による一般運輸業
土地建物の売買、賃貸業

● 株式の状況 (平成27年3月31日現在)

資本金	5,935,940,378円
発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式の総数	55,116,142株
株主数	3,582名

● 役員 (平成27年6月25日現在)

代表取締役社長	笠井 孝悦
代表取締役副社長	眞下 幸人
専務取締役	斉藤 規男
常務取締役	小川 勉
常務取締役	村瀬 孝司
取締役	山下 晃史
取締役	田口 和己
取締役	長見 真治
取締役(社外)	花田 力
取締役(社外)	三枝 紀生
取締役(社外)	一村 和男
取締役(社外)	中戸川 健一
常勤監査役(社外)	武藤 肅
常勤監査役	柳田 信夫
監査役(社外)	加藤 雅哉
監査役	金子 光

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
同総会議決権行使株主確定日	3月31日
配当金受領株主確定日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座 管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎0120-232-711(通話料無料)
上場金融商品 取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード9014)
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.shinkeisei.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

お知らせ

ご注意

- 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、単元未満株式の買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記三菱UFJ信託銀行連絡先にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

配当金計算書について

同封いたしております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づき作成する「支払通知書」を兼ねております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

なお、配当金を証券口座でお受け取り(株式数比例配分方式)の株主様は、お取引のある証券会社へご確認ください。

株主・投資家の皆様へ



第97期 報告書

平成26年4月1日 ▶ 平成27年3月31日

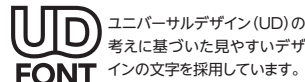
Contents

- 株主の皆様へ 1
- 財務ハイライト 1
- 事業の概況 3
- 環境への取り組み 4
- 安全性・サービス向上へ向けた取り組み 5
- 沿線価値向上へ向けた取り組み 7
- 連結財務諸表 8
- インフォメーション 9
- 会社の概要/株主メモ 裏表紙

Shin-Keisei Report

まいにち、ちょっと、新しい。
shin-kei-sei

携帯ホームページへ
簡単アクセス



当期純利益は 18億6千万円を計上



代表取締役社長
笠井 孝悦

当期の業績について

株主の皆様におかれましては、日頃より、新京成電鉄グループに対しましてご愛顧を賜り、厚く御礼を申し上げます。

第97期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)の事業の概況をまとめ、「Shin-Keisei Report」としてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府及び日本銀行の各種政策を背景に、雇用や所得環境が改善するなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループでは安全管理体制の更なる充実を根幹とし、引き続き全事業において積極的な営業活動を展開するとともに、経営基盤の強化並びに効率化に努めました。

その結果、全事業営業収益は197億6,598万円、前期比0.3%(6,295万円)の増収となりましたものの、全事業営業利益は30億4,071万円、前期比0.6%(1,681万円)の減益となりました。経常利益は、支払利息が減少したこと等もあり

前期比1.8%増の31億1,880万円、当期純利益は前期比4.0%増の18億6,385万円となりました。

また、配当につきましては、経営基盤の強化安定を図るとともに、安全輸送の確保や旅客サービス向上等の設備投資及び将来にわたる企業体質強化のための原資となる内部留保資金の確保等を勘案しながら、株主の皆様へ安定的かつ継続的に利益還元していくことを基本方針としております。この基本方針に基づき、直近の業績動向等を踏まえ、当期の期末配当金を、1株につき3円(中間配当金2円50銭を含めて年5円50銭)といたしました。

今後の取り組みについて

今後の当社グループを取り巻く事業環境は、沿線の少子高齢化が一段とすすみ、厳しい状況が予想されます。

このような状況を踏まえ、当社グループでは、「地域と会社のブランド力向上」「信頼性・快適性の向上」「成長できる業務体質への転換」「人材力・組織力向上」の4つの戦略を柱とした、平成25年度から平成27年度の3ヶ年を計画年度とする中期経営計画を着実に実行してまいります。

当社グループは、継続してお客様に喜んでいただけるニーズを先取りしたサービス展開や、安全・安心・快適を根幹とした事業運営に邁進するとともに、コンプライアンス及びリスク管理の徹底を図り、企業の社会的責任の遂行に取り組んでまいります。

さらに、企業イメージをより強化するために新たに制定した「シンボルマーク」・「コーポレートカラー」の浸透を図り、当社グループのブランド価値の更なる向上へつなげるとともに、お客様第一主義による「BMK(ベストマナー向上)推進運動」に取り組み、お客様や社会からより信頼いただける企業を目指してまいります。

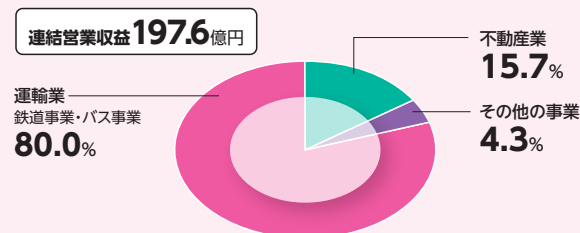
また、本年より上場会社に適用が開始された「コーポレートガバナンス・コード」に基づく取り組みをすすめ、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に努めてまいります。

今後につきましても、積極的な営業活動を行い、業績の向上に努めるとともに、経営基盤の強化安定を図ってまいりますので、株主の皆様にはなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年6月

財務ハイライト

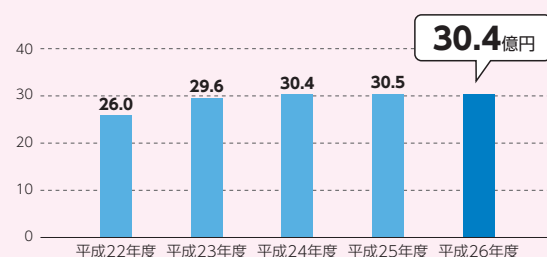
セグメント別営業収益構成比(平成26年度)



*構成比率は、外部顧客に対する売上高に基づき算出しています。

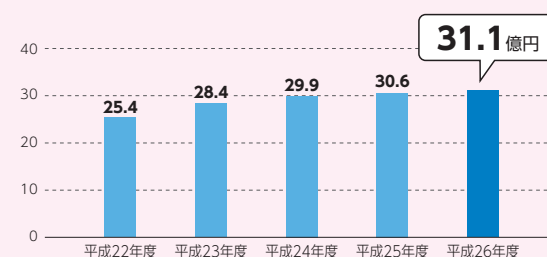
連結営業利益の推移

(億円)



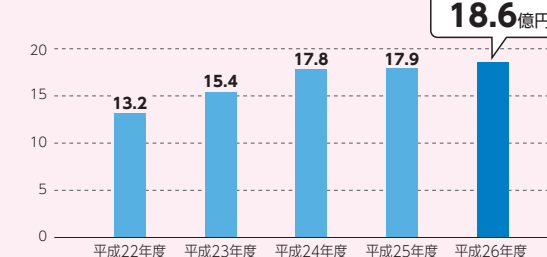
連結経常利益の推移

(億円)



連結当期純利益の推移

(億円)



事業の概況



運輸業

鉄道事業では、安全輸送確保の取り組みとしてデジタルATSを京成津田沼駅～前原駅間に設置し、使用を開始いたしましたほか、耐震補強工事として、上本郷駅～松戸駅間の土留擁壁補強工事などを推進いたしました。

諸施設のバリアフリー化につきましては、エレベーター新設(松戸駅)及びホーム嵩上げ(元山駅・五香駅)を実施いたしました。また新たに制定した「シンボルマーク」・「コーポレートカラー」について平成26年6月より使用を開始し、駅名看板や電車車両への展開を順次はじめました。

鎌ヶ谷市内の連続立体交差化工事につきましては、引き続き早期完成を目指し工事をすすめてまいります。

営業面につきましては、平日朝ラッシュ時間帯の混雑緩和のため、平成26年11月8日にダイヤ改正を行いましたほか、新京成ファミリーコンサート等を開催するなど、旅客誘致と増収対策に努めました。

バス事業につきましては、環境や高齢者などに配慮した車両への代替を15両実施いたしましたほか、お客様の更なる利便性向上を図るため、船橋新京成バス株式会社では船橋行田線の新設、松戸新京成バス株式会社では小金原線において系統を新設し、新たに新松戸駅への乗り入れを開始するなどダイヤ改正を実施いたしました。

以上の結果、営業収益は消費税に伴う先買いの反動減等もあり158億2,490万円、前期比1.2%(1億9,642万円)の減収となり、営業利益は14億48万円、前期比6.5%(9,733万円)の減益となりました。



不動産業

不動産賃貸業では、空室へのテナント誘致を積極的に行い物件稼働率の向上に努めましたほか、賃貸施設の保全工事を実施いたしました。

新規賃貸施設として、建設工事をすすめておりました薬園台駅前ビルが、計画どおり平成27年1月に竣工いたしました。当ビルは、住宅型有料老人ホームとして一括賃貸し、平成27年4月に開業いたしました。

以上の結果、営業収益は31億6,968万円、前期比1.4%(4,530万円)の増収となり、営業利益は16億165万円、前期比7.1%(1億603万円)の増益となりました。



その他の事業

その他の事業では、駅売店のコンビニ店舗への転換をすすめて、平成26年9月までに計7店舗がコンビニ店舗として順次オープンし、ご利用のお客様よりご好評をいただいております。順調に推移しております。

以上の結果、営業収益は9億3,910万円、前期比30.0%(2億1,664万円)の増収となりましたものの、コンビニ店舗への転換による費用増もあり営業利益は1,325万円、前期比63.7%(2,323万円)の減益となりました。

環境への取り組み

当社では、鉄道事業における省電力化をすすめるとともに、再生可能エネルギーの普及促進に努め、企業の社会的責任としての環境負荷低減などを通じて社会に貢献いたします。

◆全営業列車がVVVFインバータ制御電車

VVVFインバータ制御電車は、従来制御の電車とは異なる仕組みで効率よくモーターを動かしているため、電車の走行用電力を削減することができます。当社では昭和61年に初のVVVFインバータ制御電車として8800形を導入して以降、順次、導入をすすめて、平成25年に全営業列車がVVVFインバータ制御電車となりました。最新鋭のN800形車両は旧型車両に比べ消費電力が約47%削減されます。



◆本社社屋に太陽光発電設備を設置

本社建物屋上に太陽光発電パネルを設置しております。

発電された電力は、本社建物にて使用し、節電に寄与しております。

また、蓄電池も備え、災害発生等による停電時でも、本社機能の一部を維持させることができるよう設計されております。



◆ATS(自動列車停止装置)の更新

平成26年12月6日より、安全性能を大幅に機能アップしたデジタルATSを京成津田沼駅～前原駅間で使用開始いたしました。今後も順次導入し、平成30年度を目処に新京成線の全区間に導入します。



◆耐震補強の推進

駅舎及び盛土区間等の法面について耐震補強を実施しており、平成26年度は上本郷駅～松戸駅間の土留擁壁の補強を行いました。



◆情報伝達システムの導入

災害や事故発生時に事故現場等にいる係員が所持するスマートフォンで撮影する映像が、対策本部でリアルタイムで見ることができるシステムを導入いたしました。これにより、迅速な状況把握が可能となります。



◆全駅で段差を解消

平成26年11月21日より、松戸駅でエレベーターの使用を開始いたしました。当社では、バリアフリー化計画の一環として、積極的に各駅へエレベーターを設置してまいりましたが、松戸駅への設置で、新京成線全24駅に、段差のない移動経路が1ルート確保されました。



◆バス車両の代替

小型のバス車両もノンステップバスへの代替を順次すすめ、利便性向上を図っております。



◆松戸新京成バス「小金原線バス路線網」リニューアル

平成27年3月16日より、松戸新京成バス小金原線が「新松戸駅」へ乗り入れを開始いたしました。



◆当社初の住宅型有料老人ホームがオープン

葉園台駅前に「ベストライフ船橋葉園台」がオープンしました。「ベストライフ船橋葉園台」は、地域の高齢者が安心して暮らすための住宅型有料老人ホームです。駅から徒歩1分という立地を活かし、利便性に富んだ高齢者の快適な生活を提供します。



◆ラッピング電車の運行

近隣のプロスポーツチームの応援と沿線価値の向上と鉄道利用推進を目指してラッピング電車を運行しました。

ジェットトレイン × マリーンズ号



連結貸借対照表の要旨 (平成27年3月31日現在)

科目	金額
	千円
(資産の部)	
流動資産	9,777,233
固定資産	64,538,914
有形固定資産	55,402,334
無形固定資産	432,395
投資その他の資産	8,704,183
資産合計	74,316,147
(負債の部)	
流動負債	26,586,364
固定負債	14,239,494
負債合計	40,825,858
(純資産の部)	
株主資本	29,584,033
その他の包括利益累計額	3,906,255
純資産合計	33,490,289
負債純資産合計	74,316,147

(注) 1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。
 2. 有形固定資産の減価償却累計額 63,883,709千円
 3. 1株当たり純資産額 609円97銭

連結損益計算書 (平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

科目	金額
	千円
営業収益	19,765,981
営業費	16,725,264
営業利益	3,040,717
営業外収益	295,703
営業外費用	217,617
経常利益	3,118,802
特別利益	1,423,630
特別損失	1,579,441
税金等調整前当期純利益	2,962,991
法人税、住民税及び事業税	953,208
法人税等調整額	145,931
少数株主損益調整前当期純利益	1,863,851
当期純利益	1,863,851

(注) 1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。
 2. 1株当たり当期純利益 33円95銭

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨 (平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

科目	金額
	千円
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,856,866
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,955,222
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,440,956
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 539,313
現金及び現金同等物の期首残高	4,565,647
現金及び現金同等物の期末残高	4,026,333

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

IRサイトのご案内

ホームページアドレス <http://www.shinkeisei.co.jp/>



株主優待制度のご案内

優待の種類

1 株主優待パス(定期券式)

- ①電車・自動車共通全線パス
 - 有効期間中何度でもご乗車いただけます。
 - 記名ご本人様以外の方もご利用いただけます。(1枚で一人様有効です)
 - 新京成電鉄電車全線と船橋新京成バス・松戸新京成バスの各路線(深夜急行バス・コミュニティバス等を除く)でご利用いただけます。
 - 深夜バスご利用の際には割増し分の運賃をお支払いいただきます。

2 株主優待乗車証(回数券式)

- 有効期間中新京成電鉄の電車に1枚で一人様1回(片道)ご乗車いただけます。
- 新京成電鉄電車全線でご利用いただけます。
- バスのご乗車はできません。

発行基準

ご所有株式数	株主優待パス(定期券式)		株主優待乗車証(回数券式)
	電車・自動車共通全線パス	電車全線パス	
1,000株以上5,000株未満	—	—	5枚
5,000株以上10,000株未満	—	—	15枚
10,000株以上15,000株未満	—	—	30枚
15,000株以上21,000株未満	—	—	45枚
21,000株以上39,000株未満	—	1枚	—
39,000株以上	1枚	—	—

発行基準日、発行日及び有効期間

対象	発送時期	有効期間
3月31日現在の株主様	6月中旬	7月1日~12月31日
9月30日現在の株主様	12月中旬	1月1日~6月30日

単元未満株式(1~999株)をご所有の株主様へ

当社株式は、証券市場での売買、株主総会における議決権行使の権利及び株主優待を受け取る権利が**1,000株単位**となっております。

当社では単元未満株式をご所有の株主様に対し、単元未満株式を単元株式(1,000株)までお買い求めいただける「単元未満株式買増制度」を採用しておりますので、ぜひご検討ください。

また、単元未満株式を売却できる「単元未満株式買取制度」もございますので、併せてご検討ください。

この制度をご利用になる場合は、原則お取引の証券会社にお問い合わせください。特別口座に記録された単元未満株式については、下記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。

特別口座に記録されている株主様のお問い合わせ先
三菱UFJ信託銀行 本支店 または三菱UFJ信託銀行 証券代行部



☎0120-232-711 (通話料無料)

IRカレンダー

